

エピクロロヒドリン

Epichlorohydrin



1. 別名

1-クロロ-2, 3-エポキシプロパン
クロロメチルオキシラン

2. 性質

液体 無色 クロロホルム臭

- 分子量； 92.53
- 比重； 1.180
- 蒸気密度； 3.19 ● 沸点； 117°C
- 蒸気圧； 1.6kPa (蒸気濃度1.58%)
- 下部引火点； 28°C ● 上部引火点； 87°C
- 爆発範囲； 2.3%~34.4% ● 発火温度； 385°C
- 溶解性； 不
- 許容濃度； 日本 -
米国0.1ppm (TWA)

3. 危険性・有害性

可燃性・爆発性；高揮発性で、蒸気は空気と爆発性混合ガスを作りやすい。

人体への影響；100ppmで、目・のど・鼻を刺激する。
蒸気吸入または皮膚吸収により、吐き気、疲労感、胃腸、腎臓障害等を起こす。
臭気限界25ppm

4. 他の分析方法

ガスクロマトグラフ法 [NIOSH]

5. 用途及び発生場所

溶剤、エポキシ樹脂原料、グリシド・グリセリン誘導体の合成、塩素化ゴム安定剤、繊維処理剤

6. 関係法令

安衛令 (危険物), 消防法 (危険物第4類第 2石油類)、
車両法 (危険物、爆発性液体), 危険物船送則 (毒物),
IMDGコード・クラス6-1

7. 検知管の適用

